

# 矢野の橋に

～日常、はっきりした意識がなくて利用している橋を、すこし地理的に歴史的に考察してみましよう。矢野のまちがもっと親しいものになるかも知れません。～

- (1) 矢野川橋
- (2) 矢野橋
- (3) 保育橋
- (4) 出合橋
- (5) 第1～4熊崎橋
- (6) 愛宕橋
- (7) 祇園橋
- (8) 国清橋
- (9) 高下谷橋
- (10) 上・下大原橋
- (11) 御大師橋
- (12) 上・下神長橋

★矢野公民館だより 平成21年(2009年)5月号～平成22年(2010年)4月号の記事からの再掲

★(1)～(12) いずれも 文 発喜会 楠 精洲

## (1) 矢野川橋

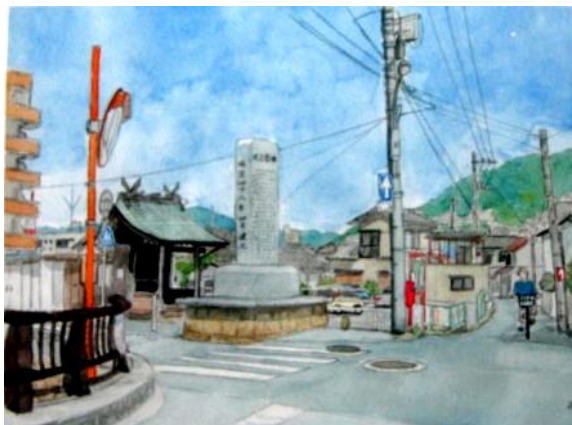
国道31号線に架（か）かる矢野川橋（築昭和8年）は、川上の矢野橋（海田—矢野—熊野ルート of 旧主道の架橋）とよく混同される。熊野別れ近くのバス停は「矢野橋」である（矢野東⇔矢野西）。

矢野川（矢野川水系）は、2級河川・流長3.2kmである。



## (2) 矢野橋

矢野橋（築昭和45年）は、内陸地（熊野・呉市昭和など）に通じる旧黒瀬街道の入口にあたる。18世紀「川尻」・19世紀「東川渡り橋」、のち「市（いち）橋」と呼ばれた。「矢野」を冠（かぶ）せたこの橋は、矢野の要衝（ようしょう＝交通上大切な場所）であった。



**写真** やの工房提供「出雲社と水害の碑」  
（矢野東五丁目2番ブロック）

### (3)保育橋

保育橋（築昭和42年）の橋名は、広島市立矢野保育園による。見るからに心楽しい「ピヨピヨ橋」（愛称）である。

香川すみさん経営の矢野町保育園は、昭和32年、矢野町に移管され、尾崎神社から立田（たてだ）に移転した。

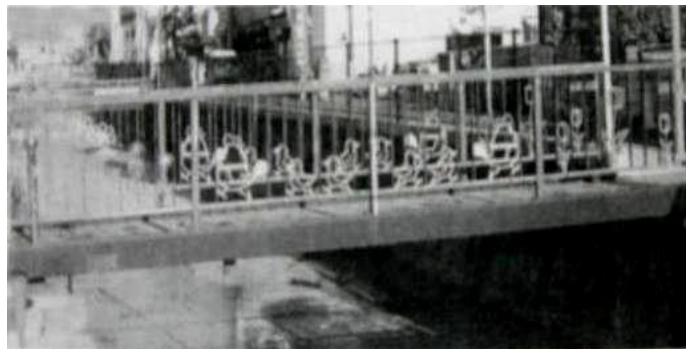


写真 矢野東五丁目9番ブロック

### (4)出合橋

出合橋（築昭和37年）で出合うのは、①尾崎神社に通じる本町通りと砂原通り。②大川（矢野川）とその支流（花上川・熊崎川）。③秋祭りの「ちょうさい」唄、「送りましょうか 送られましょうか せめて出合いの橋までよ」。男女の仲をとりもつ「ロマンの橋」である。



写真 やの工房提供「出合橋」  
矢野東五丁目13番ブロック  
～矢野西五丁目20番ブロック

## (5) 第1～4熊崎橋

昭和30～40年代、道路の改良、河川の補修とともに架橋が進んだ。

砂原一熊崎を結ぶ熊崎橋は、下流から第1（築昭和49年）、第2～4（築昭和45年）である。砂原通り（旧県道）と熊崎通り（小道）の往来の便がはかられた。

なお、姫宮一東を結ぶ姫東橋のように、2つの地区名を合わせた橋名もある。



写真 矢野東五丁目17・18・22番ブロック

## (6) 愛宕橋

愛宕（あたご）社の本道（参詣道）の起点にあたる橋（築昭和49年）。愛宕橋の近くには、愛宕湯（跡）、石灯籠（1基）・1丁石（ちょうせき）が参道に点在する。矢野城の鬼門除（よけ）の役目をもつ神社に初詣をする。春は桜の名所であった。



写真 矢野東六丁目8番ブロック  
⇔矢野西八丁目1番ブロック

## (7) 祇園橋

祇園橋（築昭和43年）は、社寺にちなむ橋名の1つ。祇園社はスナノオノミコトを祀り「祇園さんの糞（くそ）流し」の伝承がある。

橋に隣接するのは、第3消防分団の物見櫓（やぐら）（廃）と消防車庫。



写真 矢野東五丁目2番ブロック  
⇔矢野西六丁目21番ブロック

## (8) 国清橋

あげ（上・揚）と呼ばれる山麓（さんろく）のゆるやかな傾斜地には、平安時代、荘園内に国清（くにきよ）のほか、光吉、竹清などの名主（みょうしゅ）が所有する名田（みょうでん）が広がっていた。

名だたる歴史的条件（耕地字）にちなむ橋名（築昭和32年）である。



写真 矢野東六丁目32番ブロック  
⇔矢野西七丁目7番ブロック

## (9) 高下谷橋

高下谷橋（築昭和42年）は、高下谷迫（さこ＝町内会）の入口にあたる。高下（こうげ）は公家（こうげ）で、地方豪族・矢野氏（中原氏）の居住地を伝える土居（どい）の地名が残る。高下は、社会的条件のほかに、山麓（さんろく）の意をもつ、自然的条件による地名でもある。



写真 矢野東六丁目33番ブロック  
⇔矢野西七丁目8番ブロック

## (10) 上・下大原橋

大原は、平らで広く草などが生えている土地の意。大原橋（築昭和30年）は、稲荷社・狐原大師堂の本道（参詣道）にあたり、橋の近くに参詣道標が立つ。「めがね橋」とも見える2橋は、**右**側が上大原橋、**左**側が下大原橋。

なお、右側の小さな森に、阿弥陀（あみだ）堂がある。



写真 矢野東七丁目1番ブロック  
⇔矢野西七丁目17番ブロック

## (11) 御大師橋

大師講に代わって稲荷町内会が奉仕する狐原大師堂にちなむ橋名。写真は、神長橋（県道34号線）より、左に御大師（おだいし）橋（昭和44年築）、それに並ぶ天神橋の2橋である。

天神橋は、多家神社が合祀する菅原神（道真・みちざね）にちなむ「天神」による。



写真 矢野東七丁目14番ブロック

## (12) 上・下神長橋

矢野川の支流・神長川にかかる2橋（昭和46年築）は、矢野天神バス停に近く、神長日広団地入口にあたる。

神長（かみなが）は、昔は、かんなぎ（並・みこ）の意の「かんながら」とも、「かみなか」（髪中・神中）とも呼ばれていた。

写真は、下神長橋より上神長橋を望む。向かいの山稜は愛宕社にある山系。



写真 矢野東七丁目14番ブロック